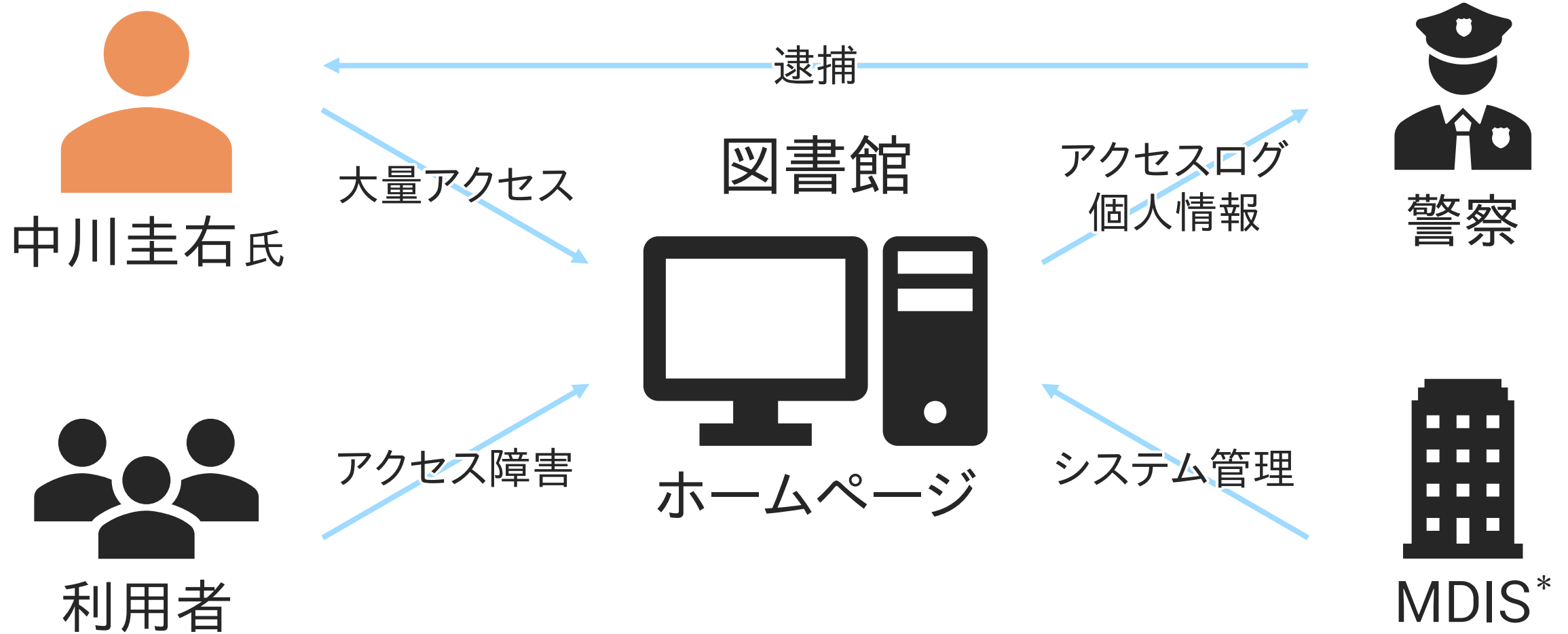


概要 | 岡崎市中央図書館大量アクセス事件

1



*三菱電機インフォメーションシステムズ

問題点①|中川氏の罪の正しい判断

中川氏のアクセスに違法性はないという意見も

①図書館のシステム

- 中川氏によるアクセス → サーバ負荷 小 1回/1秒, 1時間/1日
- MDISへの管理委託 → 図書館側のITシステムへの理解不足

②警察の捜査・検察の判断

- 警察の「大量に」という基準の認識 → ITシステムへの理解不足
- 故意的であるという判断に基づいた罪の決定

ITの知識を持つ専門家による判断の必要性

問題点② | 個人情報の取り扱い

①警察への情報提供

- 本人に直接確認する前に被害届提出
- アクセスログ・個人情報の提出 → 情報管理への意識不足

②情報漏洩

- 4か月後, 同図書館の一部の利用者情報が流出 → MDISの管理ミス

デジタル化された個人情報管理の重要性